

ウンカ類

- 日本在来の種類や、海外より飛来する種類が存在する
- 種類によりウイルスを媒介したり、吸汁により水稻を枯死させる場合がある
- 特に繁殖力が強く大きな被害につながる『トビイロウンカ』には注意する



左：トビイロウンカの被害（坪枯れ）

右：ヒメトビウンカにより媒介される
縞葉枯病

7. トビイロウンカについて

梅雨期にジェット気流に乗って中国大陸から飛来する。
飛来後に世代を繰り返すたびに増殖するため、飛来する時期が早かったり、数が多いほど発生量が多くなる。

ウンカ類の対策について

- ・ 基幹防除（出穂期・傾穂期）を必ず実施する。
- ・ 株元に薬剤が十分届くよう丁寧に散布をおこなう。
- ・ 坪枯れ被害の発生圃場では、可能な限り収穫を早める。
- ・ 多発した場合には以下の薬剤で応急防除を行う。

薬剤名	倍 率	散布量	使用時期	備 考
スタークル粉剤DL	—	3kg	収穫7日前まで	
スタークル顆粒水溶剤	3,000倍	60～150ℓ	収穫7日前まで	
スタークル液剤10	1,000倍	60～150ℓ	収穫7日前まで	
トレボン粉剤DL	—	3～4kg	収穫7日前まで	
トレボン乳剤	1,000～2,000倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	
トレボンEW	1,000倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	